流派超え技の応酬

松山で四国選抜少年少女空手

松山市で開かれた少年少女空手大会で、鋭いけりや突きで激しく攻め合う選手

松山白鷺ライオンズカップ四国選抜少年少女空手道選手権大会が8月29日、松山市市坪西町の県武道館であり、中四国地区を中心に集まった小学1年～中学3年の約200人が熱戦を繰り広げた。

大会は流派を超えた統一ルールを採用。各部門上位3人が、来年春、東京で開かれる全国大会に出場する。

選手は組手を競い合い、鋭い突きや回しげりを繰り出すなど、日ごろの練習の成果を存分に発揮。試合を見守る保護者や仲間は大きな声援を飛ばし、技が決まると大きな拍手を送っていた。（伊藤絵美）

優勝は次の皆さん。（小学生は男、女の順）

【小学1年】角裕二朗（香川県）渡部はるあ（松山市北条小）【同2年】柳井一真（松山市桑原小）宮地小冬（岡山県）【同3年】堤隆成（京都府）宮内梨子（松山市湯山小）【同4年】滝本琉汰（大阪府）山田杏佳（京都府）【同5年】山岡怜央（桑原小）田窪百花（新居浜市神郷小）【同6年】松崎歩（岡山県）石田もも（大阪府）【中学女子】大倉都乃（愛媛大付属中）【同男子軽量級】大下祐也（松山市鴨川中）【同重量級】露口智貴（同）

掲載許可番号：G20101001-00539